

## 震災に対して廃棄物資源循環学会が貢献できることは何か？

11月4日（金）14:45-17:45 B棟2階B211教室

2011年3月11日の東日本大震災においては、倒壊建物による災害廃棄物に加え、巨大な津波による災害廃棄物が発生し、これらの廃棄物が災害対応の初動時より大きな課題となってきました。このような災害廃棄物の適切かつ迅速な処理が、地域の復旧・復興において必須であることは言うまでもありません。また、近い将来には、東海・東南海・南海地震の発生が危惧されており、今回と同様に大きな災害が起こることが懸念されています。

これらのことから、廃棄物資源循環学会では、今回の東日本大震災における災害廃棄物に関して、直近でできる支援を行いつつ、これを記録に残すとともに、詳細な調査研究の実施により学術的・体系的な知見として取りまとめることを目的に、「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」を発足させ、災害廃棄物に関する現地調査から地域の方々との廃棄物対策に関する協働作業を進めてきました。日本学術会議からの緊急提言発信への協働、災害廃棄物分別・処理戦略マニュアルの作成と発信、津波堆積物処理指針案作成への協力など、具体的な取組みも多行ってきました。

本シンポジウムでは、第1部でタスクチームによる東日本大震災の災害廃棄物への取り組みと課題について、第2部で放射性物質を含む廃棄物への対応と課題について議論したいと思います。本プログラムは、市民公開ですので、多くの方の聴講をお待ちしております。

### 第1部 タスクチームによる東日本大震災の災害廃棄物への取り組みと課題

コーディネーター	酒井 伸一	京都大学	東日本大震災への学会の対応
パネラー	吉岡 敏明	東北大学	タスクチームの現地での取り組み
	浅利 美鈴	京都大学	災害廃棄物分別・処理戦略マニュアル
	大迫 政浩	国立環境研究所	政策展開とその支援
	遠藤 守也	仙台市	被災自治体の経験と学会への要望

### 第2部 放射性物質を含む廃棄物への対応と課題

コーディネーター	森口 祐一	東京大学	概要説明
パネラー	高岡 昌輝	京都大学	廃棄物処理の専門家の立場から
	森 久起	原子力研究バックエンド推進センター	放射性廃棄物の専門家の立場から
	(調整中)	環境省	政策担当者の立場から
	崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー	持続可能な社会をつくる元気ネット 市民の立場から

## 国際シンポジウム・International Symposium

### 「廃棄物処理における水銀管理」

### Mercury Management in Solid Waste Sector

11月3日（木）13:00-15:00 B棟1階B111教室

乾電池や蛍光灯などをはじめとして廃棄物中に含まれる廃棄物処理における水銀処理は以前から問題となってきました。日本でも焼却施設に水銀を含む廃棄物が大量に搬入され、焼却処理が中断する事故が起こったことは記憶に新しいことです。また国際的に越境移動する水銀が問題となっており、有害廃棄物の越境移動を規制するバーゼル条約に加え、世界的な水銀条約制定の取り組みもなされています。この国際シンポジウムでは日韓で問題となっている水銀の課題を廃棄物処理の観点から国内的・国際的にさまざまな方向から検討し、意見交換を行うことを目的としています。

#### プログラム

講演1	環境省環境保健部環境安全課	甲斐 文祥
講演2	韓国 National Institute of Environmental Research	Dr. Shin, Sun Kyoung
講演3	京都大学	教授 高岡 昌輝
講演4	韓国 Yonsei University	Prof. Seo, Yong Chil
討論		
司会:	Chonnam National University 愛媛大学	Prof. Lee, Weon Joon 客員教授 貴田 晶子

使用言語: 英語